

## I. 巻頭言

『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2011』を刊行いたします。

東北大学埋蔵文化財調査室は、施設整備などに先立つ、構内遺跡の記録保存のための調査と、それに関連する業務を担当する、東北大学の特定事業組織です。埋蔵文化財調査室では、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』と『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』という、二種類の報告書を刊行しています。

施設整備などに伴う記録保存のための本調査については、その発掘調査報告書を、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』というシリーズ名で、各調査ごと刊行しています。『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』は、埋蔵文化財調査室の事業概要を迅速に報告するという目的のために、毎年度ごとに報告しています。

本年次報告では、埋蔵文化財調査室が2011年度に実施した埋蔵文化財調査の概要、および調査室が実施したその他の事業について概要をとりまとめて報告いたします。2011年度は、前年度末の3月11日に発生した東日本大震災により、通常とは大きく異なる業務に忙殺される一年間となりました。

2011年度に予定していた地下鉄東西線川内駅前整備に伴う調査は、震災の影響で開始時期が大きく遅れることとなりましたが、9月には開始することができました。その一方で、震災に伴う仮設校舎や応急学生寄宿舍の建築など、緊急の復旧工事に対応することが必要となりました。さらに埋蔵文化財調査室では、文化庁が呼びかけて結成された東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会からの協力依頼に応じて、被災文化財レスキュー活動に全面的に協力し、宮城県内の各地で進められたレスキュー事業に参加することとなりました。被災地に所在する大学の機関として、専門的知識を活かし、地域の歴史・文化を守り継承して、復興へつなげていくために、今後も協力していきたいと考えております。

これら事業の実施にあたっては、経験のないことも多い中、学内外の関係機関や関係者の多大なご協力を得て、滞りなく事業を進めることができました。ここに厚くお礼申しあげるとともに、今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

埋蔵文化財調査室長 阿子島 香